YAMAHA

3-way 3-speaker System

NS-690III

取扱説明書

●ごあいさつ

このたびヤマハ・スピーカーシステムＮＳ－６９０Ⅲをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●ご使用上の注意

●ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、接続を間違いなく行うためにアンプの取扱説明書で確認してください。

●スピーカーシステムの許容入力以上の出力をもつアンプを使用される場合には、スピーカー保護のためスピーカーに最大許容入力以上の過大入力が入らないようにご注意ください。

●キャビネットを美しく保つためにキャビネットに水気及びアルコール・ベンジン・シンナー・殺虫剤等をかけたり、ビニール系の敷き物類をのせないようご注意ください。またお手入れの際には、必ず柔らかい布で空拭きするようにしてください。

●キャビネットの変色、変形を防ぐため直射日光や湿気の多い所での使用は、できるだけ避けるようにしてください。

●スピーカーシステムを移動させる場合、サランネットに強くふれますとスピーカーを破損させる事がありますのでご注意ください。特にウーファーのコーン紙およびスコーカーの保護網、ツィーターの振動板を押えないようにしてください。

●手をふれやすいウーファーのコーン紙およびセンターキャップには手をふれないよう充分ご注意ください。変形などしますと、音が歪んだりいたします。

●設置場所

●床に直接置いて、低音域が不自然に強調されたりする場合にはコンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。

●スピーカーの背面を固い壁などに近づけて設置し、前面にガラス戸や固い壁などがある場合は共振・反射を防ぐため、聞く側に厚手のカーテンを掛けるなどしてください。

●スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリング（音の悪循環）を起こす事がありますのでご注意ください。

●スピーカーには強力なマグネットがついていますので、テレビ・時計・磁気テープなどの近くには置かないでください。

●アンプとの接続

●接続する前に

スピーカーシステムをアンプに接続する場合は、必ずアンプの電源を切ってください。

スピーカーシステムの入力インピーダンスは８Ωです。トランジスターアンプの場合はインピーダンスに関係なく接続できますが、真空管アンプの場合は必ず８Ωの出力端子に接続してください。

●接続方法

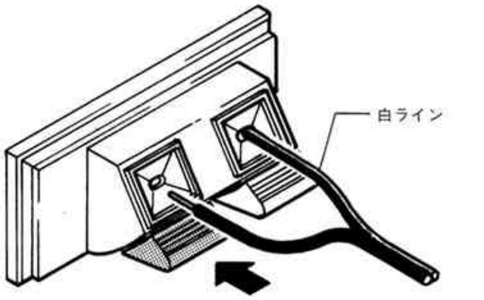
スピーカー背面のプッシュターミナル式入力端子（イラスト参照）とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。

左チャンネルのスピーカーはアンプのＬ端子へ、右チャンネルのスピーカーはアンプのＲ端子へ極性（＋、－）を確認し接続します。片側のスピーカーだけ極性をまちがえると低音域のない不自然な再生音になってしまいます。

付属のスピーカーコードには片側に白ラインが入っています。白ラインの入っている側をアンプ及びスピーカーの赤端子へ、白ラインの入っていない側を黒端子へ接続してください。

接続方法

赤ターミナルが＋、黒ターミナルが－です。下部のレバーを指で押し外側の穴と内側の穴を合わせ、コードの芯線部分を差し込み、レバーから指を離せば接続完了です。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

ステレオを楽しむエチケット

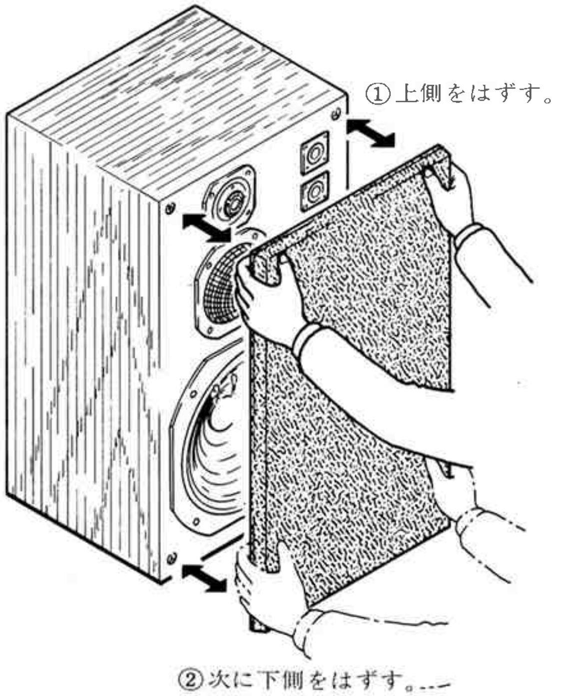
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。
静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりしてご使用になるのも一つの方法です。
音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

●サランネットの脱着

サランネットは本体に4個所で取りつけられています。サランネットを取りはずす場合は、下図のようにまずサランネット上部の両側をもって手前に引き、次に下側を手前に引けばはずれます。

取り付ける場合は、サランネット4隅のストライク（プラスチック状の突起）と本体側キャッチャー（ストライク受け部）の位置を合せてサランネットを軽く押えてください。

サランネットの脱着



●レベルコントロールの使い方

お部屋の音響条件やプログラムソースにあわせて、スピーカーの中音域（MID LEVEL）と、高音域（HIGH LEVEL）をコントロールすることができます。

前面のサランネットを取りはずすと、上部に2つのレベルコントロールがありますが、

上側が高音域の調整用（HIGH LEVEL）

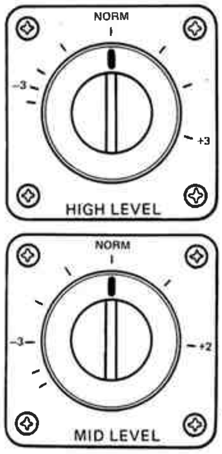
下側が中音域の調整用（MID LEVEL）です。

それぞれ、NORMALポジションのとき特性がフラットになり、左に回すと出力レベルが下がり、右に回すと上がります。

レベルコントロールの調整は、アンプの音質調整やフィルター関係のスイッチをすべてフラットな特性となるようにして、音量は通常お聞きになるレベルにセットしてからおこなってください。

まず、中音域MID LEVELでセットし、また高音域はHIGH LEVELを回して、最も自然に再生されるようにしていただくことをおすすめします。

レベルコントロール



参考仕様

型式	3ウェイ　密閉式　左右対称型	インピーダンス	8Ω
使用スピーカー	ウーファー　JA-3060A（30cmコーン型）	クロスオーバー周波数	低↔中 800Hz（12dB/oct）
	スコーカー　JA-0701C（7.5cmソフトドーム型）		中↔高 6KHz（12dB/oct）
	ツィーター　JA-0509C（3cmソフトドーム型）	レベルコントロール	高音　連続可変
定格入力	40W		中音　連続可変
最大許容入力	80W	寸法（W×H×D）mm	358×630×315
出力音圧レベル	90dB/1m、1W	重量	27kg/台
再生周波数帯域	35Hz～20KHz	付属品	スピーカーコード×1／台

※上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがございます。

※上記の定格入力、最大許容入力（瞬時なら加えられる入力）の値以上の入力を加えないよう充分ご注意ください。

※エージングについて

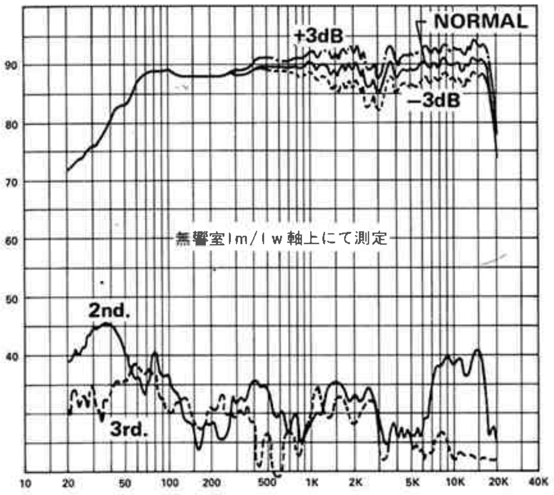
スピーカーにはエージング効果があります。

各ユニットの振動板、素材、接着剤、それにエンクロージャーが安定状態に入るまでには、様々なプログラムソースで鳴らしこんでください。しばらくお使いいただければ充分なエージングによってNS－690Ⅲ本来の音を発揮し始めます。

● 特性表

■ 周波数特性／レベルコントロール特性／高調波歪特性

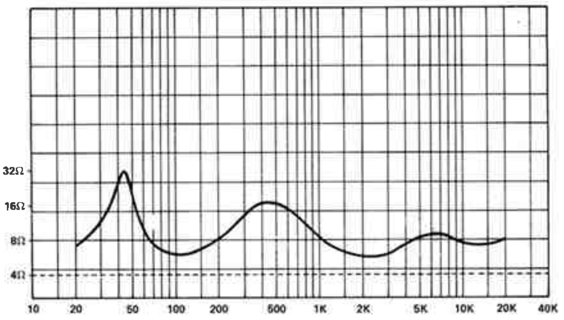
出力音圧レベル(dB)



周波数(Hz)

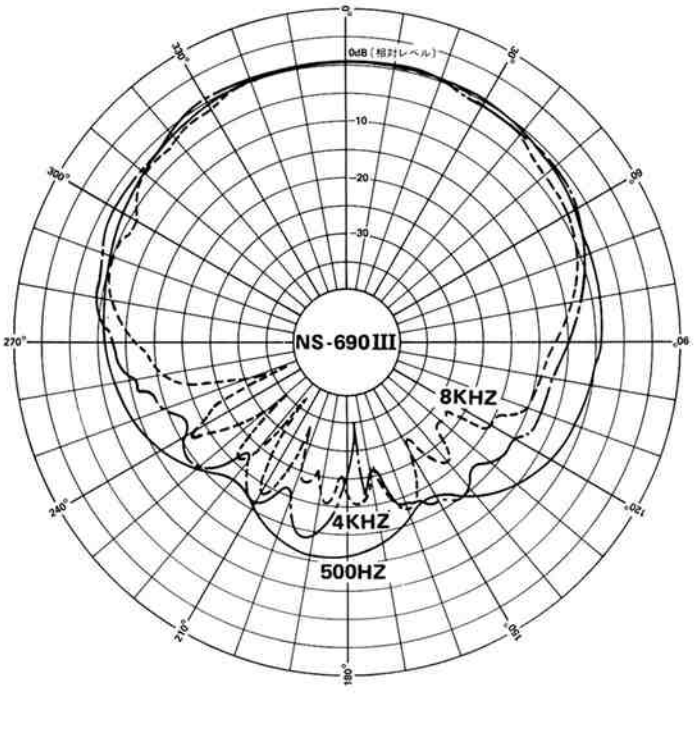
■ インピーダンス特性

インピーダンス



周波数(Hz)

■ 指向特性



■サービスのご依頼

- サービスのご依頼は、お買い上げ店、または日本楽器ステレオサービス係へお願いいいたします。
- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。(日本国内のみ有効です。)
- 保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、最低8年となっています。
- 日本楽器ステレオサービス係への持ち込み修理
  故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに直接ご自分でお買い上げ店、または最寄りの日本楽器各支店へお持ちいただければ、出張費などの経費の点でお徳です。
- 修理可能範囲、修理可能の範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますのでエージングの差による音色の違いが出る場合があります。

サービスのお問い合せは

■サービスネットワーク(ステレオサービス係)

北海道事業所・〒064	札幌市中央区南十条西1丁目 (ヤマハセンター内) TEL (011)512-6111
仙台事業所・〒980	仙台市一番町2丁目6－5 TEL (0222)23-3101
東京事業所・〒101	東京都千代田区神田駿河台3－4 (龍名館ビル4F) TEL (03)255-2241
浜松営業所・〒430	浜松市田町32 (東京海上ビル5F) TEL (0534)54-4115
名古屋事業所・〒460	名古屋市中区錦1－18－28 TEL (052)201-5141
北陸出張所・〒921	金沢市泉本町7－7 (ヤマハ金沢センター) TEL (0762)43-6111
大阪事業所・〒550	大阪市西区江戸堀1－9－1 (肥後橋センタービル6F) TEL (06)445-6421
四国出張所・〒760	高松市西宝町2丁目6－44 (高松センター) TEL (0878)33-2233
広島営業所・〒731-01	広島市安佐南区祇園町西原2205-3 TEL (08287)4-3787
九州事業所・〒812	福岡市博多区博多駅前2－11－4 TEL (092)472-2151